



日本GAP
17
No.

仙台支部報

IGAP-JAPAN SENDAI INFORMATION

頒価 無料/送料60円(切手可)

○編集人: 安藤澄雄

○発行人: 笠原弘可(仙台支部代表)
申込先 〒980 仙台市東10番丁1

国鉄アパート1-18



仙台市 安藤澄雄

気持ちのいい響き

屋敷の間の短い夢だった。暖かな戸外で黒柳徹子さんと4歳ぐらいの子供たちがピアノを囲んでいた。どうやら和音を教えようとしているらしく、黒柳先生は「気持ちのいい響きを探すのよ」と言って、ポロンとある和音をたたいて例を示した。

4、5人の小さな生徒たちのうちの1人の女の子は早速ピアノに近寄り、あれこれと鍵盤をたたき始めた。

ところが残りの子供たちは、ピアノには目もくれずに、ある子供は手近にあった輪ゴムをポヨン、ポヨンとはじいてみせるし、ある子供は木の幹に耳をくっつけて小さな手でペタン、ペタンとたたいている。またある子供は何を思ったかペタッと座り込むや、地面に小さなほっぺたをくっつけてジッと耳をすましている……。

目が覚めてからもしばらく夢の中にいた。

輪ゴムを鳴らした男の子、キミは輪ゴムで遊ぶのが大好きなんだよね。いつか大空に向かって飛ばしたときの「ピ、シューン！」という響きの自由さを覚えていたんだネ。

大きな木に耳を当てたキミ。僕にはキミの気持ちがわかるような気がする。堅い幹に寄りかかって泣いたとき、風は「ルルーン」と歌ってくれたもの。

それからキミ。地面の音なら僕も知っているよ。そう、そうなんだ。懐かしい響きだ。

ピアノを弾いた女の子。キミは前からピアノを弾いてみたくしようがなかったんだよね。それにキミが黒柳先生を大好きだってことも、僕にはよくわかっていよ。

ああ、キミたち。キミたちは本当に音楽家だ！

気づかぬワク

起き上がるそばに博子(妻)がいた。夢の話をしてあげた。「黒柳先生は素晴らしい人だねエ。和音というものをドミソとかドファラとか観念的に教え込もうとしないで、「気持ちのいい響き、として実感で学ばせようとしたんだから。本当に音楽というものを知っている人なんだろうね。でも、ここで大切なのは、黒柳先生でさえも「大人の考え方をしてしまったということだね、ほら、ピアノというワクを与えてしまったんだ。幸い子供たちは黒柳先生以上に自由だったからピアノに固定されずに木や土のメロディーを聴いていたけど。それにしても僕たち大人というのは、知らず知らずのうちに子供たちにワクを与えてしまって、つまらない人間になるように仕向けているのかもしれないね。理由も聞かずにしかったり、理由を説明しないで禁止したり……。大人はもう一度自分を見つめ直して、本当

に大人の考え方が正しいのか、子供は何を求めているのか、人間の自由とは何かについて考えてみる必要があると思うよ。お互い宇宙哲学を学んでいるからには、自分たちの子供にだけなく、どの子供にたいしても、どの大人にたいしても、そして自分のどんな想念にたいしても「ワク」を持たずに接してその本質を見るようにしたいね」
こんなにスラスラとしゃべったはずはないが、だいたいこんなことを言いたかったはずだ。

もうひとつの夢

夢を見たあと、続きを考えてみた。黒柳先生はさすがに悟りが早く、あの子供たちを見て自分の未熟さを反省し、そしてこ

んなにも素敵なお子供たちが自分の生徒であることに深く感謝するだろう。そして一人一人を抱きしめるだろう。

最近「夢のあと」の光景に私の娘(汐雨)が出てくる。汐雨は丈夫そうな太い足をむき出しにして雨上がりの水たまりに両足を突っ込んでパシャパシャしている。(もちろんこの間生まれただけだからそんなことはできるはずもないのだが、なぜか3、4歳の姿になっている)そばには黒柳先生のかわりに私がいる。足を動かすたびに汐雨のおかっぱは揺れて、太陽の光にきらめく。夢中で、本当に楽しそう……。夢のあとに——私はまた夢を見てい

大会と私 (3) 仙台市 笠原良子

仙台・山形合同支部大会も5回目を迎えようとしています。私にとって想い出深い大会は、私たちの結婚1週間後に催された、昭和54年5月27日の第2回仙台支部大会です(翌年から山形支部と合同で開くことになりました)。整理もついていない新居での前夜祭は、ことのほか愉快でした。また、狭い部屋にひしめき合いながら先生を囲んでの一時は、二人にとって記念すべき日となりました。

あれから5年、私は専業主婦として育児に奮闘中です。最近2歳になる孝文(たかふみ)はかなり否定的な言い方をし、乱暴な行動をとります。少々心配になりますが、よく考えてみると、大分私が影響を与えているようです。ある意味で子は親の鏡的存在と言えるでしょう。だからこそ、感情に流されることなく、大心でもって受けとめてあげたいと思っています。一日のうちで「だめ」「やめなさい」をあまりに多く浴びせることは少々

かわいそうになります。育てる中で単に物事のよし悪しを強制することは、子供を縛り、原因を知らずに表面だけで判断することになるでしょう。純粋な心を大切にすることも、自由に話せる、素直に聞けるという環境を作っておきたいものです。特に私としては、いかなる時にも冷静に彼の言い分を聞いてあげる努力をしています。しかし現実には生易しくない。ふすま、壁に落書きをし、裸のまま逃げ回り、所かまわずおしっこをされますので、かんしゃく持ちの母親にもなります。子供ほどの忍耐があればと思います。彼はいくらいられても何度もチャレンジしてきます。決して恨んだりしません。またしかられ泣きじゃくっていても突然「もう泣かない。ごめんなさい」と微笑みます。何か底知れない明るさとパワーを感じます。我家を盛り立てている一人なのです。

目にしみる青葉のころ、皆様にお会い出来ることを楽しみにしております。

大地

— 連載 第1回 —

山形県 **柴田光明**

こちら山形に移り住んでから早くも4カ月が過ぎました。この辺りは、どちらかと言うと宗教的因襲や伝統が残っている地域です。しかし、住んでいる人達はとても暖かく素朴です。また、こちらの人達は皆厳しい自然の中で培われた忍耐強さを持っているように見えます。

こちらに来て一番驚いたことは大自然の素晴らしさと雄大さです。見渡す限り雪で覆われた大地の下で、植物が冬の寒さに耐え忍んでじっと春が来るのを待っていると思うと、その生命力の力強さを感じます。生命力とは単に言葉では言いつくせないほどの活動エネルギーであると思います。地球上で季節の姿

今回から前神奈川支部代表の柴田光明氏の連載が始まります。柴田氏は昨年11月13日に柴田文子さんと結婚なされてから山形県新庄市で新しい生活を始められましたが、都会(横須賀市)から大自然のふところへ飛び込んできた感想や発見を数回に渡って書いていただきます。柴田氏は山形で何を見つけたのでしょうか？

大自然と私 (1)

化をバランスよくコントロールし、創造物に恩恵を与え生かしているすさまじい活動に満ちた宇宙の英知・パワーとは、ほんとうに素晴らしいと思います。

もし、人間が宇宙から地球をながめたら、自分達がなぜあんなにも土地・財産・主義等に縛りつけられて狭く考えていたのであろうかと不思議に思うでしょう。このような地球を中心にした考え方や自分を中心にした考え方のワクを超えて宇宙を見るならば宇宙のあらゆる物が一体である事を知るでしょう。そして自然を観察することによって生命力の不思議さ・調和・相互関係・自然の法則等を学ぶことができると思います。

私はこれからこの豊かな自然の中でそれらを学んでいきたい

と思っています。これから春になって植物が成長し活動をするように私も新鮮な気持ちで前進して行こうと思います。

新人登場!

今月から月例会に出席することになった 安藤汐南(あんどう・ゆな)さんをご紹介します。

- 生年月日: 1984年3月4日
- 年齢: 満0歳
- 両親: 安藤澄雄・安藤博子
- 特技: オナラ
- 月例会出席のきっかけ: 両親の単なる自己満足から
- ひとこと: ……プー!

予告

第5回日本GAP

仙台・山形合同支部大会

今年も下記の通り、仙台・山形両支部は合同で支部大会を開催いたします。合同で開くようになってから早くも5回目……。この記念すべき大会を意義のあるものにするため、両支部役員一同、最善を尽して皆様のお越しを心からお待ちしております。

………大会概要………

- ◎日時: 6月24日(日) 13時~17時
- ◎会場: 仙台市市民会館 〒980 仙台市桜ヶ丘公園4-1 (西公園内) ☎0222・62・4721 仙台駅から車で10分
- ◎会費: 2000円
- ◎プログラム………
- 13:00 支部代表あいさつ
- 13:15 会員体験講演 太田節子(仙台市)
- 14:00 講演「現象の世界と宇宙空間」 久保田八郎(日本GAP会長)
- 15:30 記念撮影・休憩
- 16:00 自己紹介・質疑応答
- 17:00 閉会

夕食会(予約制)

大会終了後、別会場において立食パーティーを開きます。
◎時間: 18時~20時
◎会場: 勾当台(こうとうだい) 会館(〒980 仙台市国分町三丁目9-6) ☎0222・22・3301

◎会費: 5000円

宿泊 ニューシティーホテル

(〒980仙台市国分町二丁目14-23 ☎0222・63・4191)をお世話いたします。(予約制)

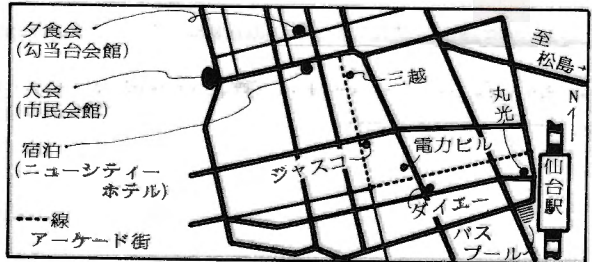
観光 大会翌日は希望者により松島方面を観光いたします。

※夕食会及び宿泊は予約が必要です。ご希望の方は、ハガキで、5月31日(必着)までに笠原までお申し込み下さい。(宿泊希望日もご記入下さい)

草原

xxxxx 今、宇宙的に xxxxx 笠原弘可

汐南ちゃんが生まれた。安藤汐南である。私はまだ対面していない。何を書こうかと思ったが、何が何でも書き出しには、このことを記さねばならないだろう。今後の健やかな成長を心からお祈りする次第である/赤ちゃんの誕生に限らず、森羅万象、時々刻々と生じ、また一方では滅している。最も生滅の活発なのは想念である。第三者の目で自分を見てみると、如何に心が多くの「想い」を放っているかが判る。そして、如何に恐れ、いら立ち、生命を見失っているかが解るのである/これではダメだ、とはこれまでも幾千回想ったことである。そのたび奮起し、何らかの方法を講じてきた。それらは、確かに力になったし、道を示してくれた。今後も、色々と問題にぶつかるたびに、深思黙考し、良き方法を模索していけるだろうが、ただ一つ自信を持っていることがある。それは、とにかく宇宙的想念をいっぱい放つことである。心配の想念が起こっても、それはそれで、片や良き想念を起こすことはできる。最も効果のあるのは、朝目覚めたら早速「今日一日、一つでも多くの宇宙的想念を起こすぞ」と、自分自身に宣言することである。もちろん、これは私の方法で、皆が皆ではないだろう。要は自分自身で方法を見出すことであり、何より宇宙的人間になる方法を考えること自体、既に宇宙的態度ということが出来る/心配や恐怖は、そういう事態が起こったときにすると、今この瞬間は良き想念を起こすことにしよう——そんな、気楽な態度が、私の性に合っているようである/職場に山積みされている書類を誰か片付けてくれたらもっと気楽になるだろうが、



編集後記

◎春を迎え、すべてがまぶしいほどにエネルギーが湧きます。私たちが心を春にして、大きく深呼吸してみませんか。

◎長い間仙台支部の一員として

共に宇宙哲学を学び、酒をくみ交し、徹夜で語り合った柳村敏春氏が、ご乗転により実家のある岩手県に帰りました。いつでも仙台に遊びに来て下さい。(A)